しんじょう
2008.3.3
すさき・かわうそクラブ会報
―No.10―
発行：すさき・かわうそクラブ事務局

須崎高校放送部のみなさんが、取材に訪れました。

９月21日（金）、須崎高校放送部のみなさんが、市役所を訪れました。

須崎高校放送部では、11月に行われる大会に向け、須崎市で取り組んでいる「まち全域がサービスエリアタウン事業（ＳＡＴ）」と「かわうそのまちづくり事業」をテーマに作品を制作する事になり、事業の内容などについて取材したいとの事でした。

取材は、インタビュー形式で行われ、ＳＡＴに関しては、事業の概要や課題、問題点などについて、かわうそのまちづくりに関しては、韓国との交流や、具体的な取り組みなどについてお話ししました。

取材は1時間程度で終了し、その後、須崎市で保管しているカワウソの皮をお見せしました。

放送部のみなさんにとって、今回の取材は放送部としての経験だけではなく、身近な須崎市のことを知っていただけるよい機会になったのではないかと思います。

いい作品に仕上がるといいですね。

先輩の指導を受けながらインタビューする生徒。

すさき野外博物館開催

第7回

第7回目のすさき野外博物館は、10月6日「サシバの渡り」と題し、虚空蔵山の展望台で行われました。

サシバは、夏鳥としてやってきます。８月下旬頃に繁殖期を終え、９月下旬には南へ渡っていきます。渡りのコースは、まだまだ不明な点が多いそうですが、一日に約12時間、距離にすると、４００～５００キロを飛ぶそうです。この日は、千羽を越えるサシバやハチクマが南へ渡っていきました。

数十、数百羽の群れをつくって飛んでいました。その後、気流に乗って気持ちよく西の方へ飛んでいきました。

展望台には、野鳥の会のみなさんも。天気にも恵まれ、展望台は非常に気持ちよかったです。

第8回

第8回目の「すさき野外博物館」は、2月23日（土）午前10時から、押岡多目的集会所で行われました。

今回も、ＮＰＯ法人四国自然史科学研究センターの谷地森秀二先生を講師にお迎えし、昨年と同様、押岡地区の田んぼで見られる冬に卵を産むカエルをテーマに学習しました。

四国で見られるカエル

現在、四国内には12種類のカエルが確認されており、そのうち11種類は高知県でも見ることができます。

ちなみに、高知県で見ることのできないカエルは、「ダルマガエル」というカエルです。香川県や愛媛県の離島でわずかに確認されているそうですが、どちらの県でも「絶滅危惧Ⅰ類」に指定されています。

また、「トノサマガエル」や「ニホンアカガエル」も、絶滅が危惧されているカエルの一種です。

毎回、わかりやすくお話ししてくださる谷地森先生。

カエルの住む環境

カエルは、ムカデやクモ、

ミミズといったものを食べます。基本的に目の前の動くものに飛びつき、口に入れた時、硬かったり刺激があったりすると「食べられない」と判断し、吐き出します。小さなカエルも食べます。

逆に、カエルを食べる生き物は、カマキリ、ヘビ、サギ、タヌキなどです。人間もカエルを食べます。このように、カエルの暮らす環境は、様々な生きものが暮らす多様な環境にあるといえます。

講義を受ける参加者たち。

カエルの暮らす環境には、様々な生きものが暮らしています。

なぜ少なくなってきたのか

カエルが少なくなってきた理由は、産卵場所の減少、移動経路の遮断、ウシガエルやアライグマなどの新たな天敵の出現などが考えられます。

カエルツボカビ病

また、最近では、「カエルツボカビ病」という病気も心配されています。これは、両生類の皮膚に感染・増殖し、水を介して他の両生類に感染します。感染した両生類の死亡率は９０％以上ともいわれています。その高い死亡率と強い感染力により、世界中で多くの両生類が絶滅したと言われています。海外から輸入された両生類などを自然界に放すような事は、絶対にしないでください。

今年の押岡の様子

今年は、ヤマアカガエルの卵が１１５個確認されたそうです。１つの卵には、１，０００から３，０００のおたまじゃくしが「ふ化」します。

しかし、多くの天敵に囲まれているため、再びこの田んぼに帰ってくることのできるカエルは、ごくわずかです。

年々、ここで産卵するカエルは増えているそうですが、大半がヤマアカガエルだそうです。ひょっとしたら、他のカエルにとっては、産卵しやすい環境ではないのかもしれないと、おっしゃっていました。

最後に確認されたヤマアカガエルの卵。

今年もたくさんのオタマジャクシがいました。

雪割り桜情報

須崎市にある桑田山（そうだやま）地区。ここは、雪割り桜の里として、２月中旬から３月中旬頃まで、多くの方でにぎわっています。雪割り桜とは、「ツバキカンザクラ」の事で、一足早く、春の訪れを感じさせてくれます。

今年は、例年よりも開花が遅く、見頃は３月上旬から中旬頃ではないかと思われます。

なお、開花状況は、須崎市ホームページをご覧いただくか、須崎市企画課までお問合せください。

須崎市ホームページ
http://www.city.susaki.kochi.jp/

雪割り桜の里、桑田山地区。のどかな感じです。

「すさき・かわうそクラブ　会員募集中」

「すさき・かわうそクラブ」では、かわうそのまちづくりを応援してくださる方を募集しています。詳しくは、事務局までお問合せください。

また、かわうそのまちづくりに関するご意見・ご質問などもお待ちしております。

（事務局）　須崎市企画課　　〒785-8601　高知県須崎市山手町１－７
ＴＥＬ　0889-42-5691　　ＦＡＸ　0889-42-7320
Ｅ-ｍａｉｌ　kikaku2@city.susaki.kochi.jp